

# 町青少年の主張大会！

## 夢を目指して変わった私

八百津高校 2年 矢澤 歩華

中学の頃の私は自信がなく、「勉強してもテストや成績は上がらないだろう。」と思い込んでいました。しかし課題テストで今までに取ったことのない点数をとれたことがきっかけで、私は勉強が「楽しい」と思えるようになりました。授業や課題で分からなかった問題は、昼休みや放課後に先生に聞きに行き、理解できるまで質問をするようになりました。

勉強が楽しくなった私は、将来のことを具体的に考えるようになりました。ある先生に相談したところ、「看護師はどうだ。」と薦めていただきました。私は弟の出産に立ち会ったことを思い出しました。へその緒が首に巻き付いてなかなか出てこれられないのに、必死に出ようとする弟の姿を見て、私は新しい命の誕生と向き合う「助産師」になろうと決心しました。・・・(一部抜粋)



## 一度失った希望と、変わった人生

八百津高等学校 3年 西野 壮哉

八百津高校に入学して、運動好きだった私はカヌー部に入部しました。そんな時、夏休みの練習中に私は倒れました。大丈夫だろうと思っていた時、体育大会の練習中に倒れました。

「カヌーにはもう乗れない。」という医者の言葉に衝撃を受けました。「なぜ、僕がこんな目に」…頑張ってきたことが全てなくなった気がして、何もかも投げ出そうとしました。

でも、顧問の先生の「今までお前は頑張ってきた。その頑張りを無駄にするかしないかは、お前次第や。選手としては無理かもしれないが、部の一員としてチームの雰囲気をお前が作っていけ。」という言葉に、「よし、頑張ろう。」という気持ちになりました。

そこで私はリハビリを続けながら、部のみんなに声かけをたくさんしました。

その結果、部の雰囲気もよくなり、病気も「運動してもよい」と言われるほどに安定してきました。6月の高校総体に出てもよい、と言われました。「3年間リハビリしてよかった」と思えた瞬間でした。顧問の先生にも「よかったじゃないか。」と言われ、この時、自分は前向きな人間に変わったな、と思いました。これからも八百津高校で身に付けた「くじけない心」を忘れず、前向きに生きていきます。・・・(一部抜粋)